



いよいよ始まるロボット支援下手術

外科 羽田 匡宏



1990年代、大腸癌に対して腹腔鏡手術が始まったところから「腹腔鏡に意味はあるのか?」と議論されながら、それでも大腸癌領域においては積極的に腹腔鏡手術が施行されてきました。いまや全国の95%以上の施設で大腸癌に対して、ステージを問わず、腹腔鏡手術が行われています。腹腔鏡下手術はおなかを二酸化炭素で膨らませて、細い鉗子を使って病変・臓器を切除する方法です。開腹手術に比べて体のダメージが少なく、腹腔鏡により拡大視効果が得られるため、より細かな手術を行えるといった利点があります。

ロボット支援下手術は、腹腔鏡手術の一種として、2018年に直腸癌、2022年に結腸癌が保険収載となりました。鉗子を機械で制御するため、腹腔鏡手術に比べて手ぶれがほとんど無く、精緻な手術を行う事が可能です。さらに、ロボット用鉗子には関節がついており、腹腔鏡手術よりも自由度の高い手術を行うことが可能です。特に、骨盤腔のような狭い場所では効果的であり、大腸癌ガイドラインでは直腸癌に対してロボット支援下手術を行うことが強く推奨されています。

当院では6月に手術支援ロボット・ダヴィンチXiが搬入され、8月にロボット支援下手術第一例目を行いました。

心機能など耐術能が良好であれば、年齢、腹部手術歴の有無にかかわらずロボット支援下手術が可能です。(ただし腹部に動脈瘤を持つ患者さんは禁忌とされています。)

私自身は2019年からロボット手術に携わり、様々な症例を経験してきましたので、地域の先生方、そして患者さんのニーズにお応えできと思っています。手術を悩まれている患者さんがおられましたら、ご相談させてください。

術後はガイドラインに沿った定期的なサーベイランスをこれまでと同様に行い、今後は地域連携パスも活用していきたいと考えています。地域から選ばれる病院を目指してこれからも頑張っ参りますので今後ともよろしくお願いいたします。



研修・講演・学習会のご案内

1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

日 時：9月9日（火） 19：00～20：00 場 所：当院3階 講堂

1）症例検討

『PICOを用いた人工肛門閉鎖部に対する局所陰圧閉鎖療法』 形成外科 宮下 松樹

2）ミニレクチャー

『後天性血友病Aについて』 血液内科 寺崎 靖

先天性血友病Aは、第VIII因子の遺伝子異常に基づく量的質的異常の先天性凝固障害症である。一方、後天性血友病A（AHA）は、後天性に第VIII因子に対する自己抗体（インヒビター）が産生され、第VIII因子活性が著しく低下することにより、出血傾向の既往歴や家族歴のない主に高齢者に突発的で広範な皮下出血や筋肉内出血などの重篤な出血症状を呈する自己免疫性後天性凝固因子欠乏症である。2021年から2023年の2年間に英国で実施された調査では、年間1.48人/100万人の発症率と報告されている。近年、本邦でも人口の高齢化に伴い報告数が増加しており、本邦にお

ける発症率も1～2人/100万人と推測されている。

エミズマブ（EMI）は活性化第IX因子と第X因子を架橋し、第VIII因子を介さずに内因系のカスケードを活性化させるヒト化二重特異性抗体である。先天性血友病Aに対し承認され、2022年6月には世界に先駆け、本邦でAHAに対して出血傾向の抑制として使用可能となった。AHAにつき概説し、当院で経験したバイパス止血療法を行わずEMIによる出血予防療法が止血にも有効である可能性が示唆されたAHA症例を経験したので紹介する。

予告

10月の予定は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

日 時：10月14日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場 所：当院3階 講堂

内 容：①症例検討 1例（担当）腎臓内科
②ミニレクチャー 1題（担当）麻酔科

2. ダイアベティス研究会（旧：糖尿病研究会）

日 時：令和7年9月18日（木） 17：30～18：45

場 所：当院3階 講堂

テーマ：BSスケールと定期インスリン
（インスリン治療の基本）

講 師：内科医師 浅野 彰子



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

令和7年度 富山市民病院 地域連携の会 講演会・懇親会のご案内

地域連携の会 講演会・懇親会の開催を下記のとおり予定しております。地域の先生方と当院の医師との意見交換を身近に行える貴重な機会として、職員一同楽しみにしております。登録医の先生方には別途ご案内いたしますが、是非お越しいただきますようよろしくお願い申し上げます。

日 時：令和7年11月28日（金） 19：00～

場 所：ANAクラウンプラザホテル

内 容：①講演会
②懇親会



臨床工学科のご紹介

当院臨床工学科には現在、11名の臨床工学技士（CE）が在籍しており、臨床技術支援や医療機器の保守管理に日々取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、輪番日には1名のCEが日当直体制で院内に常駐し、呼吸器管理や心臓カテーテル治療など、緊急時にも迅速に対応できる体制を整備しました。

2022年には、心臓ペースメーカー、CPAP、腹膜透析装置など、遠隔モニタリング対応機器専用の管理室を設置し、定期的な確認と迅速な対応が可能な体制を構築しています。

また、当科では医師・看護師と連携のもとタスクシフト/シェアを推進し、内視鏡センターでの検査・治療の補助や腹膜透析装置の管理を担うことで、医療の質向上と業務の効率化に貢献しています。

2025年8月からはロボット支援手術を導入して



おり、安全で円滑な手術が行えるよう、関連機器の操作や管理体制の充実に取り組んでいます。

今後も、医療現場を取り巻く環境や技術の進歩に柔軟に対応し、新たな医療機器や技術の情報をいち早く把握・導入することで、適切な運用体制の構築に努めてまいります。

また、地域の皆様との連携を深めながら、医療機器を通じて安心・安全な医療の提供に尽力してまいります。

今後とも、皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

9月

科 名	医師名	不 在 日
内 科	桶 家	12日
	野 村 智	25日
	水 野	22日
	深 川	18日
	得 能	25日
	浅 野	5日
	坂 東	29日
外 科	宮 下 知	26日、30日
	佐々木	10日、12日
	加 納	29日
	竹 中	16日、19日
	清 水	22日、24日、25日
泌 尿 器 科	児 玉	8日、9日
	小 泉	3日、4日
麻 酔 科	松 浦	18日
産 婦 人 科	田 中 智	16日、17日、18日、19日
	竹 内	29日
	布 村	22日、24日、26日

科 名	医師名	不 在 日
整形外科・関節再建外科	重 本	12日、29日
精 神 科	仲 間	25日
	水 橋	2日
皮 膚 科	大 石	5日、26日、29日
	池 田	22日、24日、25日
脳 神 経 外 科	毛 利	16日、17日、19日
	サウスウィック	24日
眼 科	山 田 芳	17日、19日、22日、29日
	上 嶋	9日
	瀧	1日、17日
呼吸器・血管外科	湖 東	19日
	土 岐	22日
小 児 科	野 村	16日、18日
耳 鼻 いんこう科・頭 頸 部 外 科	辻	17日、18日
	児 島	22日
緩 和 ケ ア 内 科	中 山	29日、30日
	服 部	11日、12日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

今年から小学生になった長女が初めての夏休みを過ごしています。1学期は保育所と学校のギャップに戸惑い、学校への行き渋りの多かった娘ですが、休み中は伸び伸びと過ごしています。

娘の夏休みの様子を見てみると、【学校プールは熱中症アラートで中止】【自由研究は提出自体が自由】【ラジオ体操はお盆前に終了】と、昔と今の夏休みの過ごし方の違いに驚き、時代の変化を感じました。

連日35℃超えの暑い日々が続いていますが、少しでも夏の思い出を作りたいと思っています。

ふれあい地域医療センター 笹井 絵夢



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

